

令和元年度小さな経営革新チャレンジ支援事業 事例紹介

京都乙訓農業改良普及センター

【6次産業】

新たな自家製の野菜やハーブ加工品に挑戦

市町村	京都市	伴走支援 のポイント	普及計画の対象地域で、自家製のハーブや人参、大根などの生産と加工品づくりに挑戦し、独自の新たな商品化に向けた事業の伴走支援を行った。
実施主体	音吹畑（高田潤一郎・深幸）		
事業費	175千円（補助金額：117千円）		
成果	新たな自家製のハーブティー・乾燥野菜の加工に挑戦し、ハーブティー・乾燥野菜ラベルデザイン・ラベル代金などに事業を活用。青果店、飲食店、また、各地のマルシェなど新たな取引を行い、売上アップに繋がった。		



ハーブティの商品荷姿①



カラフルな乾燥人参の商品荷姿②

【流通・販売】

PR動画の作成・利用による販売促進

市町村	京都市	伴走支援 のポイント	栽培技術の支援や商談会等の情報提供など、連携を図っている。
実施主体	森田 良彦		
事業費	300千円（補助金額：200千円）		
成果	PR動画（生産者・栽培ほ場、野菜・加工品、レシピの紹介）を作成し、ビジネス商談会等で来客やバイヤーなどに対してより分かりやすい商品紹介を行った結果、既存契約店では新規品目の追加契約や新規契約店の開拓が図れ、販売促進に寄与できた。		



商談会でのPR動画の利用



PR動画

【農産物生産】

観光イチゴ園の開園に向けた高品質なイチゴ栽培

市町村	京都市	伴走支援 のポイント	地域の賑わいや活性化にもつながる観光イチゴ園の開園に向けた、高品質なイチゴ栽培への伴走支援を行なった。
実施主体	田中宏明		
事業費	335千円（補助金額：200千円）		
成果	イチゴ育苗底面給水資材の導入により、①炭疽病の予防、②育苗期間の短縮化、③花芽分化促進、④土入れが不要で作業の簡素化を実現した。		



底面給水システム（育苗）



底面給水用ポットを用いた育苗

令和元年度小さな経営革新チャレンジ支援事業 事例紹介

山城北農業改良普及センター

【流通・販売】

こだわり米を商品化、販促資材活用し、商談会へチャレンジ！

市町村	八幡市	伴走支援 のポイント	販促グッズの作成や商談会の状況を聞き取りながら、事業を進めた。
実施主体	今中 裕太		
事業費	330千円(補助金額:200千円)		
成果	真空パックのオリジナル米商品と販促グッズ(チラシ、ミニのぼり等)を作成し、各種商談会へ参加した。イラストで栽培方法を記載したチラシは見やすく、他社との差別化や商品のこだわりを伝える事ができ、販促活動への手応えが得られた。		



商談会ブースで商品紹介



イラスト入りチラシは「こだわり」満載

【農産物生産】

黄色LEDでナスのタバコガの食害低減！

市町村	京田辺市	伴走支援 のポイント	黄色LED導入は協議の上、実施した。また、ナスのほ場巡回を定期的に行い、虫害低減効果を畑で共に確認した。
実施主体	森 岳人		
事業費	149千円(補助金額:99千円)		
成果	早熟トンネルナスの夜蛾類防除のため、光防除手法である黄色LED(商品名:レピガード)を導入したところ、夜蛾の一種のオオタバコガによる果実食害低減や農薬散布回数の低減に繋がった。		



ナス畑に設置した黄色LED



ナス互見会では品質や害虫被害低減の意見交換

【流通・販売】

オリジナルパッケージで玉露を有利販売！

市町村	京田辺市	伴走支援 のポイント	初めて自園自製の茶製品を作り、どのように有利販売するかを話し合った。
実施主体	山下 新貴		
事業費	368千円(補助金額:200千円)		
成果	玉露の販路開拓のため、ロゴマークを新規にデザインし、ロゴマーク入りの名刺や新パッケージを作成した。これから販促活動を実施し、売り上げ向上や自園の知名度アップを目指す。		



自園オリジナル商品を道の駅で販売



自園自製の玉露の品質を確かめる

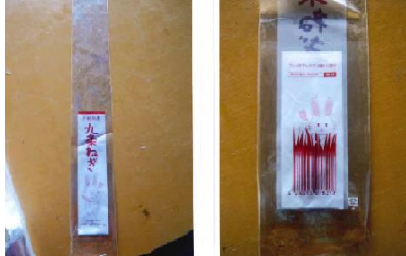
令和元年度小さな経営革新チャレンジ支援事業 事例紹介

山城南農業改良普及センター

【流通・販売】

オリジナルデザインでネギのブランド力向上！

市町村	木津川市	伴走支援 のポイント	オリジナルの出荷袋・看板の作成にあたり、ブランド力が向上するようにデザインの助言を行った。
実施主体	株式会社バニーズファーム		
事業費	319千円(補助金額:200千円)		
成果	小売店舗では地場産の鮮度と品質の高さをアピールすることができ、自社の作業場にまで購入に来るなどリピーター客が増加した。販売した3店舗の合計販売数が15,000袋、売上1,570千円となり、自社の年間売上げの11.5%を占めるまでになった。		



防塵袋 表面 裏面



スーパーでの販売活動

令和元年度小さな経営革新チャレンジ支援事業 事例紹介

南丹農業改良普及センター

【農産物生産】

賀茂なす栽培を新規に取り組む

市町村	亀岡市	伴走支援 のポイント	必要となる生産資材や作付の準備から、支柱・誘引、整枝せん定、肥培管理など、一連の生産技術支援を行った。
実施主体	井関洋平		
事業費	315千円(補助金額:200千円)		
成果	露地キュウリよりも収益性が高く長期に収穫可能な賀茂なすの新規栽培に挑戦した。11月まで収穫ができ、次年度に向け、さらに収益向上をめざす自信につながった。		



生育初期の賀茂なす



収穫期

【農産物生産】

ブドウの観光農園設置に向けて

市町村	京丹波町	伴走支援 のポイント	初めてのブドウ栽培であり、水田転換におけるほ場排水の問題や、適品種の選定、基本技術についてアドバイスした。
実施主体	松穂好訓		
事業費	307千円(補助金額:200千円)		
成果	ブルーベリー収穫後に収穫できる品種を選定し、経営の拡大と安定化を図るべく、水田転換畑にブドウを栽植した。		



暗渠の施工



高畝にして定植

【流通・販売】

集落型農業法人における加工部門の売り上げ向上をめざす

市町村	京丹波町	伴走支援 のポイント	女性中心の同法人加工部の生産活動強化、ひいては組織の活性化に向け、当事業を活用した取組事例を紹介し、事業の進捗について支援を行った。
実施主体	(農)京丹波ほたるの里		
事業費	244千円(補助金額:163千円)		
成果	巻き寿司・黒豆みそ・黒豆もろみの販売を強化するため、道の駅に配置するのぼりとチラシ、商品に貼るシールを新たに作成した。のぼりによる売り場への誘導効果や商品の視認性が高まり、販売向上につながった。		



チラシ(表裏)



のぼりをイベントで活用



店頭に並ぶ商品

令和元年度小さな経営革新チャレンジ支援事業 事例紹介

中丹東農業改良普及センター

【流通・販売】

“まるごと鶏肉のレシピ”の作成による販路拡大

市町村	綾部市	伴走支援 のポイント	商談会開催の情報提供等により、販路拡大に向けた活動を誘導。
実施主体	蓮ヶ峯農場(峰地幹介)		
事業費	301千円(補助金額:194千円)		
成果	小さな経営規模のため、鶏肉は一羽単位での販売にならざるを得なく、取り扱い業者が少なかったが、商談会等でのレシピ紹介によってバイヤーへの商品特性の理解を深め、新規顧客を獲得。また、既存顧客にレシピを配布することで、鶏肉の問い合わせや発注も増加し、一時的に生産が追いつかない状況にもなり、販路及び販売量の拡大につながった。		



「きょうと農業ビジネス商談会」に参加



事業で作成した“まるごと鶏肉レシピ”

【農産物生産】

万願寺甘とうハウスに環境モニタリング・自動かん水装置を導入し、収量アップ!

市町村	舞鶴市	伴走支援 のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画の策定及び進捗管理の支援。 ・データに基づいたハウス内温度管理、自動かん水装置の導入効果を検討した。
実施主体	仲川 輝子		
事業費	367千円(補助金額:200千円)		
成果	環境モニタリング機器導入により、オンラインでハウス内環境を確認、データに基づいた管理が容易になった。自動かん水装置導入により、土壌の水分条件が安定化、総収量が39%増加した。		



自動灌水の制御装置



土壌水分を測定するセンサー

【6次産業】

ほうじ茶を粉末にして新たな需要開拓

市町村	綾部市	伴走支援 のポイント	事業実施後、農業会議の専門家派遣を行い、助言をしながら新商品開発を支援した。
実施主体	櫻井喜仁		
事業費	313千円(補助金額:200千円)		
成果	極細粉・細粉・粗粉の3種類のほうじ茶粉末を加工することができた。また、商談会等を通じて粉碎したほうじ茶には需要があることがわかった。今後はほうじ茶粉末を用いた新商品を自ら開発していくことも視野に入れていきたい。		



商談会での様子(粉末は3種類)



京の食6次産業化コンテスト準グランプリの商品ともコラボ

令和元年度小さな経営革新チャレンジ支援事業 事例紹介

中丹西農業改良普及センター

【流通・販売】

収穫体験による新たなファン作り活動

市町村	福知山市	伴走支援 のポイント	直売所で販売している「ブルーベリー」について収穫体験開催要望があり、事業を活用し、環境整備のための防草・防鳥対策を実施した。
実施主体	居合 和徳		
事業費	327千円(補助金額:千円)		
成果	子供から大人まで30名程度の参加があった。参加者からは「また来たい」「楽しかった」などの声が聞かれ、ファン獲得に一步前進した。		



整備したほ場での収穫体験



整備したほ場

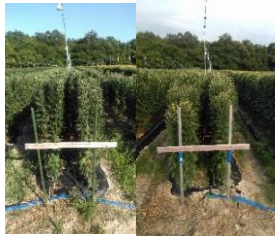
令和元年度小さな経営革新チャレンジ支援事業 事例紹介

丹後農業改良普及センター

【農産物生産】

新赤色LEDを導入し電照栽培拡大へ

市町村	京丹後市	伴走支援 のポイント	導入に際して、LEDの有効な設置高さや効果の及ぶ範囲が漠然としていたため、仮設しつつデータを取りながら正しい位置への本設置となった。密接した伴走ができた。
実施主体	長谷部 剛		
事業費	105千円(補助金額:千円)		
成果	品種ごとの電照栽培による反応性を確認できた。LEDの設置位置、効果の及ぶ範囲を確認することができた。これを元に、マニュアルをまとめ、地域における電照栽培の普及を進める。		



仮設して品種ごとの差異を確認



確認できた設置位置での照明

【流通・販売】

新しい出荷箱で砂丘の新ブランド商品化

市町村	京丹後市	伴走支援 のポイント	新規栽培者であり、経営、栽培面の伴走の他、「まいここまち」をブランド化する目的意識を醸成し、商談への参加誘導を行った。
実施主体	山野 琢也		
事業費	200千円(補助金額:千円)		
成果	これまで、商品名の入った出荷箱を持たなかったため、商品PRのできる出荷箱は、ブランド名の宣伝に効果が大きかった。販売額が上がったほか、商談会でのアピールポイントとしても役だった。		



出荷調整指導



まいここまちの出荷箱

【農産物生産】

新規栽培者のための基盤づくり

市町村	宮津市	伴走支援 のポイント	高齢なミカン農家が、新規就農者にも魅力的な高収益、高品質な新しいミカン栽培ができるようにミカンの新植を行った。技術指導と併せ、新規就農者の受け入れについても支援。
実施主体	岸田 八重子		
事業費	200千円(補助金額:79千円)		
成果	栽培者の減少と高齢化が進む由良地区で、収量性・品質の高い新品種の温州ミカンを新植することで、新たな栽培者を獲得することができた。(新規就農者1名)		



新植にあたり、施肥指導を実施